



特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブライフ・クラブ
 事務所: 大宮市中央区常盤町2-1-8 FGビル6階 〒54C-0028
 電話06-6941-5448(代表) FAX06-6941-513C
 ホームページ <http://nalc.jp>
 Eメール編集室・kaiho@nalc.jp

隔月 10日発行

2021年度活動計画 (案)

新たな時代への挑戦

「はじめに」昨年は、新型コロナウイルスの影響で活動が厳しい状況であった。本年度も現状を常のものとし、かつ目標は先を見据えながら、事業活動を進めることが重要である。しばらく新型コロナウイルスの影響が続くと思われるが、収束後の対応のためにも、今何をするべきかナルク組織を挙げて考え、実行に移したい。要は決めたことを確実に実行することが重要である。可能な対策については即実行し、基本的にはナルクビジョンを2021年度までに成果あるものにした。

最重点活動

- 1 組織の総点検
- 2 代表・役員が全会員との対話と意思疎通の推進
- 3 後継者の発掘と人材の育成
- 4 次期リーダーの育成(本部・エリア主催)
- 5 役員研修会の実施
- 6 ネットワークの構築
- 7 本部と拠点、拠点代表と役員、役員と会員とのネットワークを構築しFace to Face(当面はリモート)での対応
- 8 これまでの理念を踏まえたくえ、将来の発展に向けて新



奈良県・高取町ジャンボ雛 写真 古布啓治

季節の輝き

また、エリア単位、拠点単位での役員研修会の場でも「総合事業の推進」「拠点の課題の解決」等の内容で実施された。

- 1 ナルクの魅力を創造(時間預託制度を守りながら)
- 2 地域社会への貢献
- 3 総合事業への対応
- 4 地域での他団体との連携等
- 5 財政の健全化
- 6 健全な拠点運営と地域貢献に根差した事業活動の展開
- 7 具体的な活動項目
- 8 ナルクビジョンの最終年度として
- 9 1 ナルクの永続的発展と組織の拡充
- 10 組織の再点検で活動会員の発掘、会員によるナルクの活動の紹介・PRで会員の増強を図る(会員一人が一人の会員紹介運動の展開)

人が一人の会員紹介運動の展開)ナルクビジョンで提起された全世代対応の会員組織への展開と将来につながる組織運営の確立にナルクで取り組む。活動会員の増強については、拠点役員が全会員に面談・接し活動の要請と、拠点のイベントに参加を促し「楽しいナルク」を実践し活動の強化と会員増に結びつける。せつかくナルクに入会したのだから、ナルクに何らかのかわりを持ってもらうよう全役員が努力する。全会員が一人の会員紹介運動を継続して実践し、拠点で会員増強目標を立て取組む。2次代を担う人材の発掘と人材の育成組織の永続的発展には、次代を担う人材の育成が急務である。現状として、代表・事務局長の後継者が見つからず、拠点の解散に追い込まれた拠点を現出した。常日頃の人材育成が重要である。本年度、本部主催はもとより、エリア単位で「次期リーダー養成講座」を実施したい。今まで本部主催の次期リーダー養成講座は15回開催されているが、多くを派遣している拠点は成果を上げている。(参照:右下表)

例えば、水戸拠点は継続して養成講座に受講生を派遣し、研修後、受講生たちは自ら拠点運営の要となり積極的に拠点をリードしている。また、エリア単位、拠点単位での役員研修会の場でも「総合事業の推進」「拠点の課題の解決」等の内容で実施された。

拠点	参加者数	拠点	参加者数
水戸	16	亀岡	10
茨木・摂津	14	徳島	10
奈良	13	豊中・池田	9
栃木	12	東京	8
函館	11	ふくい	8
横浜	11	枚方	8
宝塚・川西	11	箕面	8

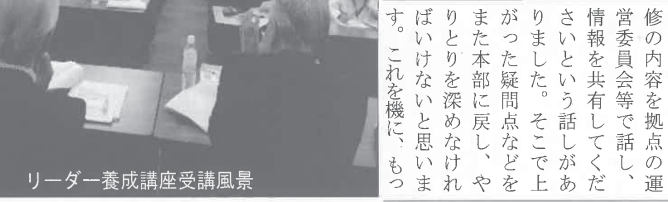
日常での育成も重要であるが役員幹部は、次期リーダーの発掘に努力していただきたい。

リーダー養成講座の受講者の感想を紹介する。※定款の講義は、大変貴重な時間でした。

日ごろは何気なくボランティア活動をしていましたが、法人としての活動規約が定款の中にあり、それに基づいて活動を行っていたことが良く分かりました。活動に自信が持てるようになりました。

※各理事より定款、奉仕活動、事業活動、会計、時間預託活動などについて話しが

あり、頭の中で分かっていながら良く分かっていなかったことが整理されました。特に事業活動について、地域活動は、益々重要性を増していきます。※本部から今回の研修の内容を拠点の運営委員会等で話し、情報を共有してくださいという話しがありました。そこで上がった疑問点などをまた本部に戻し、やりとりを深めなければいけないと思いましたが、これを機にもつ



リーダー養成講座受講風景

と積極的にナルクの活動に取り組んでいこうと思えました。3 新たな時代への対応

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で拠点活動は厳しい状況になったが、その中で工夫を凝らし活動している拠点も多くみられた。役員との関係をより密にし、今こそナルク

の会員としての一体感を持つことを大事にしていきたい。本部においても理事会は書面、リモートで実施した。しかし「Face to Face」が基本であり、新たな時代への対応として、エリア会議の実施、本部と拠点との連携、拠点役員と会員との関係をより密にするのが重要であるが、特にこの時期「Zoom」等を使つてのWeb対応をお願いしたい。そのため拠点において、極力パソコン研修を実施し、「本部一拠点一会員」とのネットワーク網を作り上げる必要がある。4 ナルクの基本理念(自立・奉仕・助け合い)を遵守しつつ、新たな魅力を会員の総意で創ろう

5 地域社会への貢献活動としての「ナルクデー」を全拠点挙げて実行しよう

ナルク創設の原点

設立以来、理念(自立・奉仕・助け合い)特に、助け合い(時間預託制度)活動を主として実践してきた。このことを遵守しつつも、時代に合わせて全世代、特に若い会員の確保を目指し、新たな「ナルクの魅力」を本部、拠点挙げて創造するものが求められている。現在取組んでいる収益事業は、外部評価や第三者評価を行う福祉調査センター活動、エンディングノートや介護サポート・養成テキスト等書籍の制作販売活動、高齢者介護施設への事業としての支援活動、市町村が進める

である社会貢献活動を積極的推進することが重要である。地域の環境美化活動、福祉施設への支援活動等を展開し、地域社会への貢献のための行動を展開し、その一つとして本年度より本格的に「ナルクデー」を4月20日を基本として実施したい。具体的な行動としては、地域の環境美化をメインに拠点単位、エリア単位の活動、または地域住民も巻き込んだ活動とした。

6 事業活動の展開により拠点の運営の健全化(組織、財政)

ナルクのように継続して活動するボランティア団体は、組織を維持していくための経費を相当額確保しなければならぬ。このためベースになる財源は活動会員の年会費、賛助会員の賛助会費、寄付金、助成金である。しかし不足する部分は収益事業を実施しなければならぬ。現在取組んでいる収益事業は、外部評価や第三者評価を行う福祉調査センター活動、エンディングノートや介護サポート・養成テキスト等書籍の制作販売活動、高齢者介護施設への事業としての支援活動、市町村が進める

友人に「追悼文集」を贈呈した。お礼のメールがあり、好きな言葉が記されていた。「人生の本舞台は常に将来にあり」この言葉は憲政の神様と言われた尾崎行雄の言葉である。人は何歳になってもそれまでの人生は序幕にすぎず、これから本舞台であるという意味だそうである。人間にとって知識と経験ほど尊いモノはなく、その二つは年毎に増えていく。すなわち人は年を重ねるほどその前途は輝かしい多望であるという彼の人生観である。▼尾崎行雄は号を「罌粟」と称し、東京市長時代、アメリカ合衆国にソメイシノを2000本贈呈し、ワシントンのポトマック河畔に植樹され「桜祭り」が開催されている。後に三重県から衆議院議員に当選しその功績を称え、国会議事堂前に「憲政記念館」が建設された▼ナルク10周年の記念パーティーが開催された場所でもある。罌粟は私の故郷である伊勢市の郊外、宮川のそばに旧居があり「尾崎罌粟記念館」が建設された。(神野慈)

和氣愛々

総合事業での住民の日常生活支援活動などである。これらの活動は拠点や本部の日常活動を支え、運営を維持管理していくために欠かせない収入源となっている。今年度もこれらの事業を前向きに展開していく覚悟である。

(1) 総合事業への対応
「超高齢化社会への課題」「介護保険の改正への対応」に対して、ナルク設立の原点である「自立・奉仕・助け合い」の理念をしつかりと再確認し、実践・行動する必要が有る。

総合事業への積極的な取組について、「介護予防・日常生活支援総合事業」は、2018年度から本格的に展開されている。2014年の介護保険法改正により設けられた高齢者の日常生活を支援する活動で総合事業と呼ばれる。従来、介護保険事業者が実施されている高齢者介護介助業務のうち、要支援1、2適用者（今後対応範囲は広がる見通し）の日常生活支援の部分を市町村事業として、ボランティア団体も参加可能な事業としたものである。昨年度末現在、ナルクでは8拠点がこの事業に

取り組んでいる。ナルクはこの総合事業に参加して行くにあたっての対応は2015年5月29日の通達で拠点に周知している。拠点はこの通達に示している3つのメニューの中から拠点の状況、拠点は役員中心に、会員の意向等を充分斟酌して自拠点が取組む方法を決定し、地元市町村からの要請に対応していただきたい。

総合事業を地域での社会貢献活動として、拠点活動の重要な活動として取り組んでいくことが、介護保険の現状並びに将来の財政負担の軽減のためにも重要であり、そのため拠点において従来から積極的に実施してきた「日常生活支援活動テキスト」を活用しての研修会を活動されているいない会員、新入会員対象に実施し、介護・介助の実力をつけるとともに、日頃から市町村当局をはじめ、関係諸団体と接触を密にして、情報の把握とそれへの対応を心掛けると共に、拠点全体としての情報の共有も必要である。要は地域での高齢者の支援ネットワークを作ることが重要である。

(2) 福祉調査センター活動
福祉調査センターは産声を上げて本年度で16年目を迎える。当初は神奈川と大阪で活動をスタートし、現在、北海道、栃木、千葉、神奈川、岐阜、滋賀、大阪、兵庫の8か所それぞれ地元の道府県単位で活動をおこなっている。内容は、グループホームの外部評価、保育園・特養等高齢者介護施設の第三者評価、児童養護施設・乳幼児等の社会的養護関係施設第三者評価等である。

活動としての協力をお願いして拠点の財政への寄与を考慮した活動として多くの拠点が実施している。

具体的な行動
1ナルクの原点・基本の徹底。理念の再認識を
今一度ナルクの理念「自立・奉仕・助け合い」で生きがいのある実践が重要である。2エリア17の新たな展開はナルクビジョンの推進で
「エリア17推進」は5年目を迎え、ナルクビジョンの推進を図るための重点課題とした。ナルクに結ぶつける。6拠点運営の健全化に努力を



4日常生活支援・介護力を強めよう
「シニア生活・介護支援サポーターテキスト」と「日常生活支援活動テキスト」を使って、全拠点が介護の心得や、介助のスキルを身につけるための会員対象の研修会を開催する必要があります。
5会員、特に活動会員増強への取組
活動会員の増強については、拠点役員の方が全会員に面談・接触し活動の要請と、拠点のイベントに参加を促し、「楽しいナルク」を実践し、活動の強化と会員増に結びつける。

6拠点運営の健全化に努力を
拠点の経常収益は、コロナ自粛の影響もあつたか会員数及び活動時間の減少により、会費収入、運営寄付金ともに減少気味である。
ナルクは営利を目的とする団体ではないが、収益の減少は活動の縮小につながることになる。それを回避する方策として助成金を活用している拠点もある。積極的に申請されたい。
また、ナルクの活動に賛同する企業や関係団体に賛助会員になってもらうよう働きかけるのも拠点運営にとって一案である。

本部、拠点においては予算管理、経費削減に努めること。すなわち「入るをはかり、出るを制す」の徹底を。
7会員と密な関係の構築を
会員、特に高齢者には「見廻りたい」「お元氣コール」と称し、多くの拠点が実施されている。
高齢会員が増える中、一人暮らしや身寄りのない独居会員が「終末もナルクにお世話になりたい」と言う方も出てきています。そのため相談窓口として、しっかり対応することが重要であり、拠点と会員との関係をより密にし、「安心のナルク」の実現を目指してほしい。

昨年ナルクの創業者である高畑敬一、名誉会長が逝去され、追悼文集を作成した際、功績を称える追悼文をいただきました。益々高齢者社会が進展し今こそナルクの活動が重要になります。高畑名誉会長、先輩諸氏が創り上げた「自立・奉仕・助け合い」の理念を継承するとともに将来に向けて新たなナルクを創るうではありませぬか。

私はこれで元気です
＝わたしの健康法をお教えます＝
再び転ばぬために
一昨年の11月初め、ゴルフを終えて帰宅途中の出来事でした。横断歩道の手前でバスが目に入り、一目散に走り込んで、両手をつく体勢で転んでしまいました。
受診の結果、「上腕骨近位端骨折」と診断され、3.5時間に及ぶ手術を受け、約1か月の入院生活を送りました。
手術の翌日に、リハビリ担当の作業療法士さんと初対面、「リハビリは痛い」と思っているでしょうが、痛いことはしません」と、ホットしたものです。
箸が持てない、文字が書けない、顔が洗えない、服の着脱が出来ない等々を経て、10か月後からリハビリを兼ねてゴルフにも挑戦しています。コロナ禍でリハビリ休止中は、再度の転倒予防のために1日40分の歩行を続け、今はどんな場合でも「急がず・走らず・つまずかす」に留意した生活を取り入れています。作業療法士さん、ありがとうございました。(枚方拠点 植本壽満枝)

自分勝手な旅にもかかわらず、計画を知らせた多くの友人がいろいろと支援してくれました。そのおかげで最後まで頑張れたことと大変感謝しています。(記・門脇宣孝)

リレーエッセイ
つれづれの記
カヤックで琵琶湖一周の一人旅
2000年に定年退職後、たまたま見つけたパンフレットの初心者講習を受けてみたのがきっかけで、カヤックは私の趣味の一つになりました。海や川も活動の場ですが、琵琶湖は自然が豊かで、何と言っても便利で安全なのが魅力です。巡ってみたい誘惑に勝てず、2001年9月と2011年7月に一周したことがありました。
今回は体力気力がまだぎりぎり残っている間に、と決断した旅で勿論これが最後になります。2020年6月29日朝、自宅近くの南郷港から瀬田川を遡り、琵琶湖を反時計回りに一周する旅に出ました。天候や体調の都合で、どこまで進めるかわからないので、原則は野宿になります。食べること寝ること洗濯などをやりくりしなければならぬので、雨の日が多かったためこれらの生活の方が舟を漕ぎ進めることよりも大変でした。1週間という非日常の体験をし、7月5日の夕方に無事に帰着しました。
この間の出来事や感想の一部を紹介します★1日目、宿営地は何もない浜辺で夜中



茂原拠点が設立20周年記念 三密を避けシンポジウム

令和2年12月6日、茂原拠点は設立20周年記念事業としてシンポジウムを開催。テーマは「人生百年時代 今、地域に求められるもの」福祉のある「我がまち」づくり」と題し、茂原市長の田中豊彦氏、社会福祉協議会会長の鬼島義昭氏を始め、多数の来賓の方とナルク会員総勢98名が参加。新型コロナウイルス禍、原市役所の全面的な支援で感染防止に万全の策を講じ開催された。

第1部と第2部としてパネルディスカッション「超高齢社会と福祉のまちづくり」と題して紹介された。第1部は「超高齢社会と福祉のまちづくり」と題し、茂原市副市長の豊田正斗氏、茂原市社会福祉協議会会長の鬼島義昭氏、神野会長、コーディネーターとして茂原拠点の松永代表が担当した。先ずコーディネーターから茂原市は2025年には高齢化率は34・6%になり3人に1人は高齢者になり、今後、助け合い・支え合いの地域づくりと地域コミュニティを取り戻すための地域ネットワークづくりについて、高齢者が安心して暮らしていけるための具体的な問題点について積極的にパネルディスカッションをすすめた。シンポジウム終了後68名からアンケートの提出があった。高齢者の社会参加について

・あまり思わない (2名)
・2社会参加したい内容は (12名)
・収入がある仕事 (38名)
・ボランティア活動 (43名)
・健康づくり・地域活動 (13名)
・趣味活動 (13名)
・高齢者支援について1元気な高齢者が地域の高齢者を支援することについて (27名)
・やりたい (20名)
・できない (22名)
・無回答 (22名)
・2介護保険について充分知っていますか (14名)
・充分知って (14名)
・ある程度知っている (38名)
・余り知らない (14名)
・3国は「在宅介護」をすすめているがどう思いますか (15名)
・望ましい (42名)
・難しい (6名)
・介護施設を利用したい (6名)
・高齢者支援について無回答が多かった。支援したいの思いはあるが、自身の体力健康に自信がもてないという迷いがある。在宅介護については望ましいが難しいと思うと答が多く今後の課題と言える。

令和3年1月22日に函館拠点の監査がMOA会議システムMOAを使って行われた。これまで、拠点の監査は、竹内監事と東本会計士が年に二か所の拠点に出向いて行われていたが、今年度はコロナウイルス感染予防の為、初めてMOA会議システムを使った。監査となりました。東本会計士の事務所では、今年度の企業の監査は、ほとんどの企業がMOA会議システムを使って監査を行っていると言われている。監査は事前に竹内監事から函館拠点に調査事項と質問事項を送り、函館拠点が笑顔は誰をも包みこみ安心して会話ができる方です。後藤さんは、中学校の頃よりバレエボールに夢中になり、高バックス(アラスカ)やイエローと会食するのが好きですが、昨

病を乗り越えてナルクと関わり私(上野真由美は14年前(39歳の時)、突然病に倒れました。そのため、右側の手足が不自由になり、半身不随になりました。リハビリは今も続けていますが、右側が不自由でも、今では人の手伝いや、人のかかわることが今の私にはとても気持ちいいものになって来ています。

前向きな姿に感動 私が初めて上野さんと出会ったのは10年ほど前です。「いよいよはたカフェ」(みんなの居場所)にお客さんとして来られました。じきにスタッフとなり、活動の中では、パッチワークや折り紙など指導しています。上野さんは、運動が得意です。分の出来ることで活

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

「いよいよはたカフェ」主宰者竹田あや子(ナルク栃木・副代表)は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

令和3年1月22日に函館拠点の監査がMOA会議システムMOAを使って行われた。これまで、拠点の監査は、竹内監事と東本会計士が年に二か所の拠点に出向いて行われていたが、今年度はコロナウイルス感染予防の為、初めてMOA会議システムを使った。監査となりました。東本会計士の事務所では、今年度の企業の監査は、ほとんどの企業がMOA会議システムを使って監査を行っていると言われている。監査は事前に竹内監事から函館拠点に調査事項と質問事項を送り、函館拠点が笑顔は誰をも包みこみ安心して会話ができる方です。後藤さんは、中学校の頃よりバレエボールに夢中になり、高バックス(アラスカ)やイエローと会食するのが好きですが、昨

病を乗り越えてナルクと関わり私(上野真由美は14年前(39歳の時)、突然病に倒れました。そのため、右側の手足が不自由になり、半身不随になりました。リハビリは今も続けていますが、右側が不自由でも、今では人の手伝いや、人のかかわることが今の私にはとても気持ちいいものになって来ています。

前向きな姿に感動 私が初めて上野さんと出会ったのは10年ほど前です。「いよいよはたカフェ」(みんなの居場所)にお客さんとして来られました。じきにスタッフとなり、活動の中では、パッチワークや折り紙など指導しています。上野さんは、運動が得意です。分の出来ることで活

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

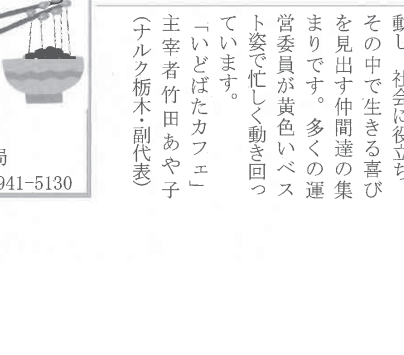
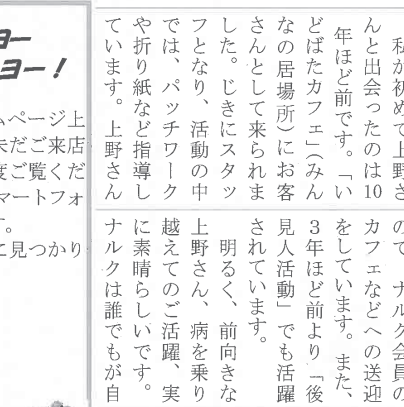
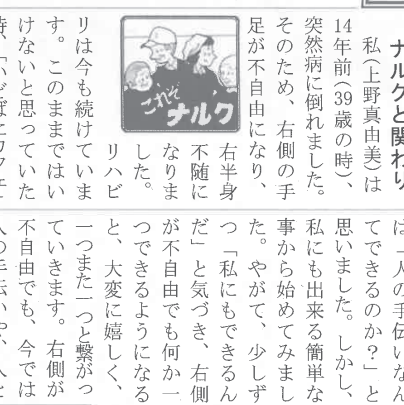
は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。



おらが拠点の熱いひと

後藤俊さんの巻 ナルク江別拠点の顔とも、江別別設立(2000年)以来の指導に奔走した。70歳で退職後、海外旅行に興味が持たれ、夫婦で7カ国旅行をしました。その中で特に印象深いのは北極圏アを辞め、「ふきのとう」編集しています。仲間(記・植松英子)

まだ買えるヨー 待ってるヨー! 昨年暮れにホームページ上でのパザーを開店しました。未だ一度も来店していません。是非一度ご来店ください。スマートフォンでも簡単にアクセスできます。「ナルク」と検索すればすぐに見つかりますので、お試しください。

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

令和3年1月22日に函館拠点の監査がMOA会議システムMOAを使って行われた。これまで、拠点の監査は、竹内監事と東本会計士が年に二か所の拠点に出向いて行われていたが、今年度はコロナウイルス感染予防の為、初めてMOA会議システムを使った。監査となりました。東本会計士の事務所では、今年度の企業の監査は、ほとんどの企業がMOA会議システムを使って監査を行っていると言われている。監査は事前に竹内監事から函館拠点に調査事項と質問事項を送り、函館拠点が笑顔は誰をも包みこみ安心して会話ができる方です。後藤さんは、中学校の頃よりバレエボールに夢中になり、高バックス(アラスカ)やイエローと会食するのが好きですが、昨

病を乗り越えてナルクと関わり私(上野真由美は14年前(39歳の時)、突然病に倒れました。そのため、右側の手足が不自由になり、半身不随になりました。リハビリは今も続けていますが、右側が不自由でも、今では人の手伝いや、人のかかわることが今の私にはとても気持ちいいものになって来ています。

前向きな姿に感動 私が初めて上野さんと出会ったのは10年ほど前です。「いよいよはたカフェ」(みんなの居場所)にお客さんとして来られました。じきにスタッフとなり、活動の中では、パッチワークや折り紙など指導しています。上野さんは、運動が得意です。分の出来ることで活

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

は、運動が得意です。分の出来ることで活かし、社会に役立ち、その中で生きている喜びを見出す仲間達の集まりです。多くの運営委員が黄色いベスト姿で忙しく動き回っています。

1)の指しとまれ 全国同好会めぐり ひたち拠点 里山を歩く会

拠点活動の活性化 および会員の健康維持と親睦を図ること... 昨年11月27日、新三市巡回ポランティアを実施...

経験が少ない方、高齢の方でも無理なく参加できるよう、事前に見学したりしてコース設定するほか、実施時期を真夏、真冬は休会として事故防止に努めており、今日まで無事故で実施できております...

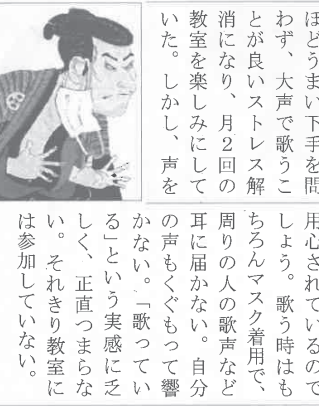


（記、櫻井博）

読者の随想

ウエブは クモの巣? 【和歌山】塩路英雄 最近「ウエブ」が頭に着く言葉が増えていく。ウエブ会議、ウエブ飲み会...

こに行き着くのに一務している」と誇らつげに語る御仁に出会おうと「あつ、そう」と簡単にかわすこと...



は参加していません。

拠点だより

子ども食堂 個人宅で これまでN P O法人「シーへの支援が一部に留まっています...

【かずさ】 三市巡回ポランティアを実施 昨年11月27日、新三市巡回ポランティアを実施...

【高槻・島本】 協力的も増えています ち帰りで再挑戦する クト実行委員会主催の多気山道保守作業に参加しました...

【交野】 活動を再開 「天の川明星デイサービス」の活動は月々金曜日の毎日11時から9時45分まで2時間、内容は洗髪後、ドライヤーでの乾...

【寝屋川】 「ふれあいフェスタ」は、昨年、コロナ禍の影響で、バザーなどの催しものが中止となり、各市民団体が日頃の活動をPRするポスター展に替...

【高槻】 支援ポイント事業 6月に再開しました。体調を整え、マスク着用、玄関での検温、入室時のアルコール消毒など、細心の注意を払って活動し...

【寝屋川】 ポスター展に参加 例年10月に行われていた「自立・奉仕・助け合い」の活動内容イラスト入りで実施しました。

【高槻】 活動再開 「高槻市」の多気山道保守作業に参加しました。自治会8団体などから計88人が参加...

【高槻】 活動再開 「高槻市」の多気山道保守作業に参加しました。自治会8団体などから計88人が参加...

【高槻】 活動再開 「高槻市」の多気山道保守作業に参加しました。自治会8団体などから計88人が参加...

【高槻】 活動再開 「高槻市」の多気山道保守作業に参加しました。自治会8団体などから計88人が参加...

【高槻】 活動再開 「高槻市」の多気山道保守作業に参加しました。自治会8団体などから計88人が参加...

【高槻】 活動再開 「高槻市」の多気山道保守作業に参加しました。自治会8団体などから計88人が参加...

【高槻】 活動再開 「高槻市」の多気山道保守作業に参加しました。自治会8団体などから計88人が参加...

団体 賛助会員 (敬称略)